



びばいし
美唄市



びばいで楽しむサイクルツーリズム

石狩平野の中央部に位置する美唄市。市内を縦貫する国道12号線は日本一長い直線道路(29.2km)として有名です。また、ラムサール条約に登録されている宮島沼があり、日本最北端のマガンの寄留地としても知られ、春のピーク時には約6万羽が羽を休めます。その美唄市で、観光資源などを活かしたサイクルツーリズムの取組についてお話を伺いました。

サイクルツーリズムの始まり



平成24年に北海道運輸局と二セコ町観光局プロジェクト協議会が、サイクルツーリズムの推進のため、台湾自転車協会の理事長をはじめとした一行を招いたときに、美唄市へ立ち寄った事をきっかけにサイクリングを通じた台湾との交流が始まりました。

サイクリストに優しいまち



自転車を活用したまちづくりを推進するにあたり、官民で協力し合いながらサイクリストに配慮した様々な取組を行っています。

美唄サイクリングマップ

一般的にサイクリングは少ない装備品で乗ることが多いため、美唄市が配布しているサイクリングマップは手のひらサイズまで折りたたため、ポケットに収めることができます。また、防水加工が施されており丈夫で汗で濡れても利用することができます。

「通過型観光」が主流ですが、近年の外国人観光客によるインバウンドやサイクルイベントの実施などにより空知地域や美唄市を訪れるサイクリストなどの増加が見込まれるため、平成30年5月に策定した「美唄市観光ビジョン」に自転車を活用したまちづくりの推進を位置づけ、「通過型観光」から「滞在型観光」へのシフトを目指しています。



▲ 美唄市で 配布されているサイクリングマップ。各コースのQRコードを読み取るとGPSナビゲーションの「ルートラボ」にリンクできる



▲コースの中に設置してある看板や標識

其の2

サイクリングコースの整備

平成28年度に、初級者から上級者までが楽しめる全長15kmから70kmまでの4つのルートを設定しました。
特に初級者向けの15kmコースについては、平成29年度に、コースの進路を記載した標識の設置や道路に進行方向を記載し、周りやすい環境整備を行いました。
イベント等での活用に加え今後、更に多くの方々がサイクリングを楽しんでいただけるコースとして期待されています。



▲ サイクルハンガーにより
愛車と一緒に宿泊が可能

其の4

宿泊施設ANNEX

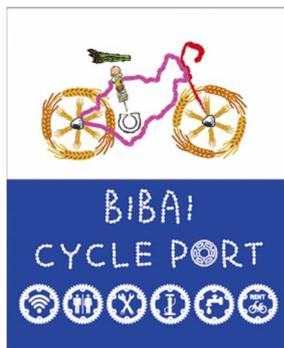
美唄温泉ビバの湯ゆくりん館にサイクリング拠点施設として、平成30年4月にANNEXがオープンし、宿泊室にサイクルハンガーが付いています。

また、工具類の無料貸出やレンタサイクルなど、サイクリングを楽しめるサービスも整っています。

其の3

びばいサイクルポート

サイクリング中に、気軽に立ち寄って休憩できるよう、平成30年度から市内12箇所の店舗や公共施設を「びばいサイクルポート」として登録し、スタンドが付いていない自転車を置けるサイクルラックや空気入れ、工具セットが常備されています。



▲ 目印のステッカー

サイクリングイベントの開催

☆びばいカントリーライド

美唄市では平成29年から市内を自転車で行くイベントとして「びばいカントリーライド」を開催しています。去年は10代から80代までの幅広い年齢層のサイクリストが、道内各地から115名集結しました。イベントのコースは、田園風景を眺めながら、ラムサール条約に登録された宮島沼を経由する走りごたえのある全長70kmのコースと、美唄市内を散策でき初心者や家族連れにちょうど良い距離となっている全長15kmの2つのコースを用意しました。イベント当日は初心者から熟練者までが、それぞれのコースを満喫して走っている様子でした。

このイベントは今年も開催予定で、既に申込期日の締切り前に定員の100名に達する人気ぶりです。

☆美唄市サイクルガイド講習会

サイクリングイベントやツアーなどで、安全・快適なサイクリングのサポート役となるサイクルガイドを養成するため、美唄市では4回のカリキュラムに分けて講習会を開催しています。この講習会では、関係法令やリスクマネジメントなどに関する基礎知識を学ぶ学科編を2回、サイクルガイドの実技演習や基礎技術などの実技編を2回受講します。

受講者は、美唄サイクリングクラブのメンバーや市内の愛好家などで、受講後はびばいカントリーライドのボランティアスタッフとして活躍しています。



▲ 美唄カントリーライドの
スタートとゴールの様子▶



市民一体でサイクルツーリズム

「将来的には美唄市サイクルガイド講習会を受講したサイクルガイドが、市内の観光資源などについて説明できる環境を整備し、観光で来たサイクリストが楽しめる様な形にしていきたい」と美唄市観光振興課の宮形主幹が今後について語ってくれました。

市と地元企業との「官民連携」だけではなく、地元住民も巻き込んだこの取組に今後も目が離せません。



▶ 取組について語る美唄市経済部
観光振興課 主幹 宮形英樹氏



地域を創る人

釧路編

11 はっとり 服部 さちこ 佐知子さん

酪農と鶴居村の魅力を発信し続ける

酪農家の応援団に！



つるい 鶴居村

美味しい牛乳は地域の宝です。ハートンツリーは酪農家の応援団として、これからも料理を通じて鶴居村の酪農の素晴らしさを伝えていこうと思えます」と服部さんは話します。

現在、新たに挑戦しているのは「ハーブづくり」。村の商工会や農協の女性部と一緒に、自然環境にも身体にも優しいハーブを、村いっばいに育てる「花とハーブがあふれる村づくり活動」を行っています。

「美味しい牛乳や野菜にも恵まれ、綺麗な花とハーブに彩られた鶴居村が『日本で最も住みたい村』になるよう、これからも国内外に酪農と鶴居村の魅力を発信していきたいです！」と楽しそうに意気込みを語ってくれました。



株式会社 丘の上のわくわくカンパニー 代表取締役
ファームレストラン「ハートンツリー」のほか、
「丘の上のチーズ工房」やゲストハウス「ガーデン
ガーデン」を運営。
鶴居村の色々な「わくわく」を国内外に発信中！

自然豊かな道東の鶴居村。酪農が盛んな村内のファームレストラン「ハートンツリー」は、全ての料理に地元で取れた牛乳を使い、地場産の野菜やハーブにもこだわっており、美味しい手料理を求めて村内外から多くのお客様がやってきます。

「ハートンツリー」を運営する株式会社 丘の上のわくわくカンパニー 代表の服部さんは、鶴居村の隣の旧・阿寒町（現・釧路市）の出身。大阪の調理師専門学校へ進学し、フランス料理などを学んだ後、同校の助手として勤務していましたが、都会で暮らす中で、「きれいな水・豊かな自然・美味しい牛乳や野菜」といった魅力が全て揃っている道東の素晴らしさに改めて気付き、昔から憧れていた自給自足の生活を目指して、一家で北海道に戻ることを決意しました。

平成5年に鶴居村に移住した当初は、酪農家を手助けする「酪農

ヘルパー」として、村内の色々な牧場で働いていましたが、搾りたての牛乳は牧場ごとに味の特徴が異なることに気付き、一般には流通していない鶴居村の牛乳の美味しさを、服部さんが得意とする料理を通じて多くの人に広めたいという思いから、平成11年にファームレストラン「ハートンツリー」をオープンしました。

さらに、村の牛乳を使ったチーズを作るため、平成25年、ハートンツリーの隣に「丘の上のチーズ工房」もオープン。工房では可愛いハートの形をした「ハートの白カビチーズ」などを手作りしており、お店を代表する人気商品となっています。

また、工房では村と連携した食育活動も行っており「チーズづくりに」を通じて、村の子供たちが牛乳や乳製品に触れることで、ふるさとの素晴らしさを実感できます。「バターや生クリーム、ヨーグルトには牛乳が欠かせません。美



▲ 鶴居村の牛乳を使ったチーズなどハートの形がとても可愛いらしい

地域を創る人

渡島編

12 おみや 大宮 トシ子さん

縄文の魅力伝えたい

北の縄文文化で地域を元気に



**ボランティア団体「北の縄文CLUB」会長
一般財団法人 道南歴史文化振興財団 発掘作業員**
南茅部町（現：函館市）で遺跡発掘作業に従事したことをきっかけに、縄文文化の普及啓発活動に取り組む。また、「函館市縄文文化交流センター」では展示案内なども行う。

平成30年7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産推薦候補に選定され、現在、世界文化遺産登録に向けて、官民一体で様々な取組が進められています。が、以前から函館市内で縄文文化の普及に取り組んできたのが、ボランティア団体「北の縄文CLUB」会長の大宮トシ子さんです。

大宮さんが縄文文化に関わるようになったのは、今から約25年前。それまでは、専業主婦として家事や育児に追われる日々を過ごしていました。子供が高校に進学し、子育てが一段落した時に、「外で働いてみたい」と考え、友人の勧めで遺跡発掘作業員として働いたことがきっかけです。

縄文文化については、あまり興味がなく、自分が暮らす地域に遺跡がたくさんあることを知っているくらいだったという大宮さん。発掘作業に関しても重労働で大変そうとは思っていなかったのですが、実際に遺跡を発掘してい

く中で、瞬く間に縄文文化の魅力に惹かれていきました。

「発掘した土器や道具を見ながら、縄文時代の人々がそれらをどのように使い、どう暮らしていたのかを想像するのが楽しかった」と当時を振り返ります。

次第に、自分でも土器や道具を作ってみたいと思い始めた大宮さんは、「北の縄文CLUB」の活動に関わるようになり、現在は会長として、年に4回ほど土器づくりや野焼き体験といったイベントを開催するほか、フォーラムやシンポジウムへの参加協力も行うなど、縄文文化の普及啓発に向けた様々な取組を行っています。

「国宝『中空土偶』や土器などを見るため、函館市縄文文化交流センターに何度も来てくださる方も多く、特に、子供たちから『体験メニューがとても楽しかった』と言われた時は、この仕事に非常にやりがいを感じる」と楽しそうに語ります。

このように、縄文文化の魅力をたくさんの人に伝えるため、様々な活動をしてきた大宮さんですが、悩んだ時期もあったと言います。特に、知人から「縄文って、難しそうで自分にはついていけない」と言われた時は、「自分が興味を持っているからといって、他人が同じように興味や理解を示してくれるとは限らない」と、活動を続けていくことの難しさを感じたそうです。

「今後は、若い世代、特に子供たちに縄文文化の魅力をもっと知ってもらえるように、多くの方のアイデアを取り入れながら、無理のない範囲で長く活動を続けていきたいし、自分たちの取組で地域が元気になればとても嬉しい」と語る大宮さん。世界文化遺産の登録に向けて、縄文文化の魅力をこれからもたくさんの人に伝えていきます。



▲ 函館市縄文文化交流センターでは、国宝である中空土偶の顔を作る体験メニューも！

森崎博之、北海道での就職に エールを送ります。



北海道か、北海道以外か。
どっちで就職しようか迷っている、そのあなた。
確かに、東京なんかには仕事がたくさんある。
なんとなくキラキラしてるし、
「若い時だから東京へ」なんて憧れるのもわかる。
でも、北海道だって就職の場として
負けず劣らず良いんじゃないかって思うんです。
地方である北海道だからこそ、
若いうちからできることが山ほどあるし
自分で仕事を切り開いていく楽しみだってある。
可能性がごろごろ転がっていますよ、この大地には。
「どこで就職するか?」と悩んだら、
まずは「北海道で働こう応援会議」を覗いてみると、
いろいろ始まるんじゃないかなあ。



書	2018年 3月 / 日現在
たきほら ひかる	
瀧原 光	
1997年 6月 12日生 (満 20才)	※男・女
ほっかいどう さっぽろし ちゅうおうく おおひり にし3ちよめ F (000-0000)	
北海道札幌市中央区大通西3丁目	
090-0000-0000	E-mail
TEL 011-1234-5678	
FAX	



北海道で働こうと思う、就活中のあなたを応援します。

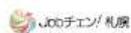
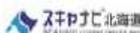
北海道で働こう 検索

北海道経済産業局、北海道、北海道教育庁、札幌市、北海道経済連合会、北海道経済同友会、北海道商工会議所連合会、札幌商工会議所、北海道商工会連合会、北海道中小企業家同友会、北海道中小企業団体中央会、北海道建設業協会、北海道機械工業会、北海道IT推進協会、北海道大学、北海道教育大学、日本私立大学協会北海道支部、北海道私立専修学校各種学校連合会、北洋銀行、北海道銀行、北海道信用金庫協会、キャリアバンク株式会社、リージョンズ株式会社、株式会社クリエイティブオフィスキュー、北海道文化放送、テレビ北海道、エフエム北海道、北海道新聞社、市内で働こう応援会議

【事務局】北海道新聞社経営企画局 TEL 011-210-5507



本当に人を必要としている、
北海道の企業を探すなら



バックナンバーは、創るWEBで

北海道創生ジャーナル

検索

URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/csr/chicho/tsukuru/toppage.htm>